

地域包括支援ネットワークの構築・強化の推進（郡山市）

○高齢者支援に関わる多職種協働のネットワークの構築・強化を図るため、医療・介護分野双方の現状理解・課題等の把握・切れ目ない支援のための情報共有の方法等について研修・情報交換を行う。

○医師会・地域包括支援センター・行政の共催。

平成24年度の実施内容「医療と介護の連携に関する研修会」

参加者： 医師・介護支援専門員・医療機関職員
地域包括支援センター職員・行政職員

医療・介護の現状理解

研修（医師による講演）

「地域医療の現状と介護との連携について」

情報共有・
連携方法の検討

事例発表（医療機関担当者からの事例発表）

「情報共有に係るツールの活用方法・実践報告」

平成25年度～

連携体制強化に係る
具体策等の検討

多職種参加による情報交換会
情報共有に係るツールの検討 等

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	郡山市	
②人口（※1）	324,905人	(H25・4・1現在)
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 21.80% 75歳以上 11.06%	(H25・4・1現在)
① 取組の概要	<p>○地域包括支援ネットワークの構築・強化の推進</p> <p>高齢者の地域での生活を包括的・継続的に支援していくための多職種協働のネットワーク構築・強化を図るため、医療・介護双方の分野の現状理解及び情報共有・具体的な連携方法等を検討するための研修・情報交換等を実施。</p> <p>※平成24年度実施内容「医療と介護の連携に関する研修会」</p>	
⑤取組の特徴	高齢者支援に関わる多職種協働による取組。	
⑥開始年度	平成24年度～	
⑦取組のこれまでの経緯	介護と医療の双方を必要とする高齢者の包括的支援が課題となっていたことから、郡山市地包括支援センター連絡協議会及び市において関係機関の調整を行い、情報交換等の場を継続的に設けることとした。	
⑧主な利用者とな人数	平成24年度実績 参加人数：103人 医師・居宅介護支援事業所の介護支援専門員・医療機関の地域連携、ソーシャルワーク業務に携わる担当者・地域包括支援センター職員・行政関係者等高齢者支援に関わる多職種が参加。	
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	社団法人郡山医師会 郡山市地域包括支援センター連絡協議会 郡山市	
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	共催（決算額：24千円）	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし	
⑫取組の課題	研修形式だけではなく、今後は地域医療の現状や介護サービスの利用実態等高齢者支援に係る情報を定期的に共有する場が必要と思われる。	
⑬今後の取組予定	各職種における支援の現状等に係る情報交換や、情報共有のためのツールの検討等を行う。また、取組の関連団体の拡大についても検討していく。	
⑭その他		
⑮担当部署及び連絡先	郡山市保健福祉部介護保険課 Tel：024-924-3021	

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

地域包括ケアシステム構築のための地域連携に関する情報交換会 (郡山市)

- 地域での関係機関相互の連携強化を推進するため、全市的な地域ケア会議として情報交換会を実施。
- 平成24年度は、各機関の活動内容等の理解を深めるための研修及び地域単位(市内9ブロック)に分かれてグループワーク等を行い、地域の実情・課題等の把握及び課題解決へ向けた取り組み等の検討を行った。

関係機関の相互理解

研修 ※各団体代表を講師として実施
「各団体の役割・機能・活動内容について」
参加団体

- ・郡山市民生児童委員協議会連合会
- ・郡山市居宅介護支援事業所連絡協議会
- ・社会福祉法人郡山市社会福祉協議会
- ・郡山市地域包括支援センター連絡協議会
- ・郡山市

課題分析・解決策検討

情報交換会 ※9ブロックに分かれて実施
「地域での活動内容や連携について」
参加者数 73名



※平成24年度実施

「医療と介護の連携に関する研修会」開催要項

1 目的

少子高齢化が進行し高齢者人口が今後も増加傾向にある中、平成24年度の介護保険法の改正において、高齢者の尊厳及び個別性の尊重を基本に、できる限り住みなれた地域で在宅を基本とした生活の継続を支援することを目指した「地域包括ケア」の体制づくりが進められているところである。

また、厚生労働省が公表している介護保険制度に関する国民の意見募集の結果においては、高齢者の多くは介護が必要になっても在宅での生活を望み、介護者の多くも在宅で介護を続けたいと望んでいることが示されており、今後も、医療と介護の双方を必要とする高齢者が増加していくものと思われる。

今後、医療と介護の双方を必要とする高齢者が地域で暮らし続けることを支えるためにも、医療と介護の連携は大きな意味を持ち、双方の現状の理解や連携がより円滑に行われていくことが必要である。このような状況を踏まえ、医療と介護の情報共有やネットワークの強化を図るとともに、高齢者が望む生活が継続できることを目的に研修会を開催する。

2 主催

郡山市・社団法人郡山医師会・郡山市地域包括支援センター連絡協議会

3 日時

平成25年3月22日（金） 14:00～16:30

4 場所

郡山市医療介護病院 3階 大会議室
住所：郡山市字上亀田1番地の1
電話番号：934-1240

5 参加者

- ・市内居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員（各事業所1名）
- ・市内医療機関において、地域連携やソーシャルワーク業務に携わる職員（各医療機関1名）
- ・郡山市地域包括支援センター職員（各センター1名）
- ・郡山市保健福祉部

6 日程

13:30 受付

14:00 開会

講演「地域医療の現状と介護との連携について」
～医療と介護の切れ目のないサービス提供への連携を目指して～
郡山市医療介護病院 院長 原 寿夫 先生
(休憩)

発表「私の地域カルテ」の活用方法について
財団法人太田総合病院 附属太田熱海病院
理学療法科 科長 古川 卓憲 氏

「私の地域カルテ」を活用しての実践報告
郡山市医療介護病院 地域連携室 室長 橋本 法子 氏
通所リハビリテーション所長 渡邊いづみ 氏

総括 郡山市地域包括支援センター連絡協議会 会長 藤江 眞明

16:30 閉会